

第14回 県内技術研究発表会（令和2年1月8日）

1. 目的

県内技術研究発表会は、島根県及び市町村の所掌する建設技術に関する調査・研究・開発の成果発表及び建設技術に関する創意工夫の提案等を行うことにより、建設技術の向上と普及を図ることを目的として毎年開催しています。

2. 主催者

公益財団法人島根県建設技術センター

3. 共催者

島根県建設技術協会

島根県農村振興技術連盟

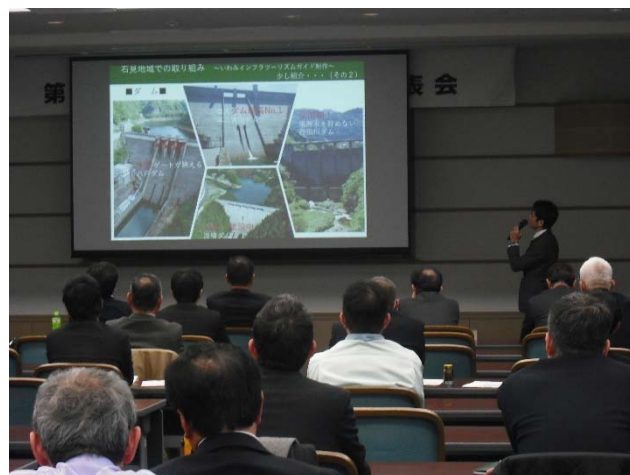
島根県治山林道研究会

松江市建設技術協会

4. 結果

別紙の通り

5. 発表会風景：



6. 発表論文

No.	発表課題	部門	発表者
1	道の駅本庄のリニューアルについて	アカ	松江県土整備事務所 主任技師 芝原 貴 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">聴講賞</div>
2	林道美保関線雲津大橋橋梁改修工事について	一般	松江市 産業経済部 農林基盤整備課 技師 田中 亮
3	若手職員自主勉強会(積算演習)の実施について	アカ	県央県土整備事務所 大田事業所 主任技師 岡 秀悟 技師 山本 敏郎 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">聴講賞</div>
4	道路パトロールアプリの開発と活用	一般	隠岐支庁県土整備局 係長 福島 琢二 技師 八澤 駿輝 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">優秀賞</div>
5	別府港 7 号岸壁新設工事に係る希少種クロキジタの保全対策について	一般	隠岐支庁県土整備局 島前事業部 主任技師 門脇 惇
6	森林基幹道足尾線で施工した間伐材パネルに関する考察	一般	浜田県土整備事務所 課長 大谷 浩章 係長 林 晋平
7	「JR 三江線の廃線に伴う道路計画の見直し」 ～川本波多線(多田～港工区)道路概略設計～	一般	県央県土整備事務所 係長 芦矢 嘉郎
8	いわみインフラツーリズムガイドマップ(仮称)の取り組みについて	アカ	浜田県土整備事務所 主任 小浴 優 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">優秀賞</div>
9	元町人麿線街路事業(仮称)新高角橋橋梁下部工 ～ニューマチックケーソン基礎の施工事例～	一般	益田県土整備事務所 係長 清水 誠一

令和元年度 県内技術研究発表会 日程表及び発表論文概要

- 1. 開会 10:00
- 2. 挨拶 10:00～
- 3. 発表会における留意事項説明等 10:10～
- 4. 研究発表会 10:20～

1	10:20～	<p>【(仮題)道の駅本庄のリニューアルについて】／アカウンタビリティ部門 松江県土整備事務所 管理課 主任技師 芝原 貴</p> <p>道の駅本庄は、松江市野原町の国道431号沿いに、2006年(H18)5月に開駅した。ここは、中海や大山、大根島が眺望できる位置にあり、また、本庄は、弁慶が生まれ育った地であるとの伝説があることから、「弁慶生誕の地本庄」として地域づくりを行っている。開駅から約13年が経過したところであるが、民間が運営している産直市やコンビニエンスストアのにぎわいに比べ、県が管理する情報コーナーは、利用者が少なく、閑散とした状態である。このため、道の駅の役割を再確認し、情報発信機能としての現状や課題、改善案を検討した。また、道の駅利用者や道の駅長から寄せられた要望等、ニーズに合わせた道の駅の改善を検討した。</p>
2	10:45～	<p>【林道美保関線雲津大橋橋梁改修工事について】／一般部門(橋梁) 松江市 産業経済部 農林基盤整備課 技師 田中 亮</p> <p>平成28年度～平成29年度までの2ヶ年で実施した林道橋梁の塗装替え工事について、長寿命化を踏まえた課題と対応を紹介する。</p>
休憩:10分		
3	11:20～	<p>【大田事業所における若手自主勉強会の実施について(仮)】／アカウンタビリティ部門 県央県土整備事務所 大田事業所 主任技師 岡 秀悟、技師 山本 敏郎</p> <p>積算技術は、発注者にとって必要不可欠な技術のひとつであるが、近年、若手職員の積算技術力の低下や経験豊富な先輩職員の不足に伴い、積算技術の停滞が問題となっている。また一方で、施工パッケージ型積算の導入や土木積算システムの利便性向上などにより積算の効率化が進み、技術基準や積算基準書を理解せずとも金額が算出できることから積算技術力の低下が懸念されている。このため、県央県土整備事務所 大田事業所では若手職員の技術力向上のため、若手職員自らこの課題に取り組むべく自主勉強会を実施した。この取り組みを経て得た成果および課題を報告する。</p>
4	11:45～	<p>【道路パトロールアプリの開発と活用】／一般部門(施工管理) 隠岐支庁県土整備局 維持管理部 維持課 係長 福島 琢二、技師 八澤 駿輝</p> <p>道路パトロール日報の作成に、時間と労力を要していたため、道路パトロールアプリを開発し、作業の効率化と負担軽減を図ったことを報告する。</p>
昼食・休憩:60分		
5	13:10～	<p>【別府港7号岸壁新設工事に伴うクロキツタの移植検討・施工事例について】／一般部門(環境保全及び安全) 隠岐支庁県土整備局 島前事業部 工務第一課 主任技師 門脇 博</p> <p>西ノ島町別府港十景地区における岸壁新設工事での埋立工事に際し、分布調査を実施したところ希少種のクロキツタ群落が確認され、工事区域外への移植を行うこととなった。クロキツタの移植は国内でも事例がないことから、本業務で実施した移植方法の検討と移植作業について報告する。</p>
6	13:35～	<p>【森林基幹道足尾線で施工した間伐材パネルに関する考察】／一般部門(維持管理) 浜田県土整備事務所 農林工務部 治山・林道第一課 課長 大谷 浩章、係長 林 晋平</p> <p>島根県では、林道における視距確保、維持管理費の低減を目的とした防草対策として切土法面に間伐材パネルの施工に取り組んでおり、この度紹介する森林基幹道足尾線においても、間伐材の利用目的を踏まえ平成11年から施工に着手している。間伐材パネルは、原木換算で10m当たり約2.2㎡の木材が使用されているが、施工後長期間経過した状況についてはこれまで詳しく検証されていなかったことから、今回現場を調査し、施工効果と課題についてとりまとめたので報告する。</p>
休憩:10分		
7	14:10～	<p>【JR三江線の廃線に伴う道路計画の見直し～川本波多線(多田～港工区)道路概略設計～】／一般部門(道路概略設計) 県央県土整備事務所 土木工務部 土木工務第一課 係長 芦矢 嘉郎</p> <p>主要地方道川本波多線は川本町内の国道261号から雲南市内の国道54号に至る東西幹線であり、県央県域における基幹的路線です。また、川本町と美郷町とを結ぶ生活上の幹線道路としても重要な役割を担っています。しかし、現況道路の町境付近は、全幅員が4mにも満たない箇所があるなど狭小なため、車の離合が困難な見通しも悪く車両の通行に支障をきたしています。そのため、両町間のアクセス利便性の向上を図るとともに、中山間地域における東西交流を促進することを目的として、江の川を対岸に渡るバイパス方式により整備します。今回、一番のコントロールポイントであったJR三江線が廃止となり、またその鉄道用地が有効活用できるようになったことから、新たに道路概略設計の見直しを行っています。</p>
8	14:35～	<p>【いわみインフラツーリズムガイドマップ(仮称)の取り組みについて】／アカウンタビリティ部門 浜田県土整備事務所 維持管理部 ダム管理第二課 御部ダム管理係 主任 小浴 優</p> <p>島根県石見地域は、県東部の出雲地域に比べると観光入込客が少なく、観光振興が大きな課題となっており、当地域における観光資源の魅力化や掘り起こしなどが急務と考えられる。近年、全国的には公共インフラが観光資源として盛んに活用されている状況であり、この度、土木建築部門等からのアプローチとして、石見地域の観光振興、地域活性化に寄与することを目的に、当地域にある公共インフラなどを広く紹介するためのガイドマップを制作することとした。このガイドマップ制作にかかる取り組み状況を報告する。</p>
休憩:10分		
9	15:10～	<p>【元町人麩線都市計画街路事業(仮称)新高角橋のニューマチックケーソン基礎の施工事例について】／一般部門(基礎工) 益田県土整備事務所 土木工務部 土木工務第二課 係長 清水 誠一</p> <p>(仮称)新高角橋の橋梁下部工の施工にあたり、近年、県事業においては施工記録のないニューマチックケーソン基礎工を採用している。貴重な施工事例として一連の流れを紹介する。</p>
休憩:40分 ※聴講賞投票		

- 5. 表彰選考 15:35～
- 6. 表彰及び講演 16:15～
- 7. 閉会 16:45～